様式１

北海道帯広農業高等学校の行動計画（グローカル・アグリハイスクール宣言　PartⅡ）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和４年度に重点化する取組及び具体的方策		
「５つのミッション」	「８の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
Ⅰ **グローカル教育**で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)アグリマイスター顕彰制度を推奨して、農業教育の質を保障 (2)農業の高度化に対応した農業教育の実践 (3)教科等横断的な視点を取り入れた授業・実習の実施	B	(1)日本農業技術検定２級15%、３級90%取得と各種資格取得の推進 (2)プロジェクト学習、高大連携、農業クラブ活動等の推進 (3)各学科、農業と共通教科等、関係部署と連携を図る
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	(1)グローカル教育を推進して、幅広い視野を持った農業の担い手を育成 (2)海外農業研修の充実と国際交流の実施	A	(1)GAP認証取得後の継続的な学習と生産工程の確立 (2)海外農業研修の充実及び報告会の実施。オンラインを活用した研修の充実を図る
Ⅱ **地域社会・産業**に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)農業・畜産経営に生かすことのできる実践的な生産技術の習得 (2)AGIAGAP取得に向けた学習をとおし農業後継者を育成する	A	(1)地域生産者、産業に従事する方、関係機関と積極的な連携を図る (2)系統立てた組織を形成しGAP学習に取り組む
	4 「地域の農業関連産業や６次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)食の安全・安心教育を徹底し、食料供給のための衛生管理意識や倫理観の育成 (2)地域貢献する林業・農業土木技術者の育成	A	(1)特産物の商品開発･検査･検品体制を継続し商品事故防止に努める。継続的なHACCP学習の実施 (2)企業と連携した職場見学をとおし、３年間の組織的・系統的なキャリア教育を実施
Ⅲ **地球環境**を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)環境に配慮した持続可能な生産技術の習得	B	(1)GAP取得作物を適性に栽培し、有効に活用することで環境に配慮した農業の実践につなげる (2)家畜排せつ物を有効活用した循環型農業の実践
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)食彩フェア、各種販売イベントへ出店することで生産、加工、販売、消費までの一環した農業教育の実践 (2)「食農教育」の学びをとおして学校開放授業や出前授業の実践 (3)学校林で産出される木材の有効活用	A	(1)生産･製造･検査･検品･販売までの一貫した実習の展開をし特産物の開発 (2)ボランティア活動による農園活用、酪農教育ファームの運営し地域交流をする (3)学校林の収穫･販売･再造林にいたる過程の教材化
Ⅳ **地域交流**の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)農業生産の中でICTを用いた学習に積極的に取り組む (2)スマート農業の積極的な活用と農業現場におけるニーズの確認	A	(1)冷蔵冷凍庫の温度管理システムを活用しリスク管理を実践 (2)牛群管理システム等を活用し最適な乳牛管理を実践。GNSS搭載トラクタを活用し圃場の最適な管理について実践する
Ⅴ **地域防災**を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)地域防災を意識した農業経営や環境教育の実践 (2)災害に強い森林づくりへの取組 (3)停電等の災害時の対応への取組	B	(1)安全教育に配慮し、防災意識を向上につとめ持続可能な農業の推進 (2)カラマツ人工林保全及び長伐期化に関する研究 (3)危機管理マニュアルの共通理解、適正運用